

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

# わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成 28 年 1 月 13 日発行

## 1月の主な行事予定

1月15日(金)

平成27年度県・市町村社会教育主事等研修会(倉吉体育文化会館)

1月20日(水)～2月26日(金)

平成27年度社会教育主事講習(まなびタウンとうはく)

## H27 インターネット利用の現状～鳥取の子どもは今!～



今年度、鳥取県ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会が全県で行ったインターネットの利用に関するアンケート調査がまとまりました。結果を踏まえ、子どもたちの実態把握や、家庭でのルールづくり等への啓発に活用してください。詳細は鳥取県教育委員会社会教育課のHPを御覧ください。

### インターネットを利用している

	小6	中2	高2
鳥取県	81%	86%	96%

小中高生の9割弱がスマホ、パソコン、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機等でインターネットを利用している。今回は所持率ではなく利用率で調査した。子どもたちは、自分のスマホやパソコンは所有していなくても、親や兄弟のものを利用していることが多い実態がある。

ちなみに、

**小6は携帯ゲーム機、中2は携帯音楽プレーヤー、高2はスマホを使う割合が高い。**

**うちの子にはスマホは持たせていないので安心！は危険である。**



### フィルタリングを設定している

	小6	中2	高2
鳥取県	35%	46%	70%
前回	61%	74%	68%

設定しない理由として、「大人も利用するから」、「子どもを信用しているから」、「特に必要性を感じないから」など。前回 H24 の調査と比べて小中学生の設定率が下がっている。

**取り返しのつかない事例もあり、転んでからヘルメットをかぶらせても遅いことを認識したい。**

### インターネットを利用して困ったことや嫌なことがあった

	小6	中2	高2
鳥取県	13%	28%	38%

「知らない人から連絡が来た」、「人間関係のトラブルがあった」、「スマホを手放せない」などが多い。依存傾向は学年が上がるにつれて上昇している。困ったときにどうしたかという質問に対して「誰にも相談しなかった」、「自分で解決しようとした」という子どもが多かった。学年が上がるにつれて「家族に相談」が減り「友人に相談」が増える傾向にある。

### 家庭内でルールを作っている

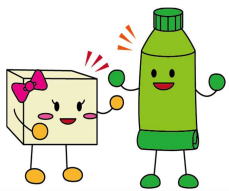
	小6	中2	高2
鳥取県	94%	90%	82%

家庭でルールを作っている割合は高くなっている。しかし、ルールに関して子どもと保護者の意識の差には大きな開きがみられる。特に高校生は親子での意識の差が44%もあった。

**親は約束したつもりでも子どもは意識していないということが分かった。しっかり話し合いをし、形に残すなど工夫が必要かも。**

**相談先を確認しておくことも必要なのは。**





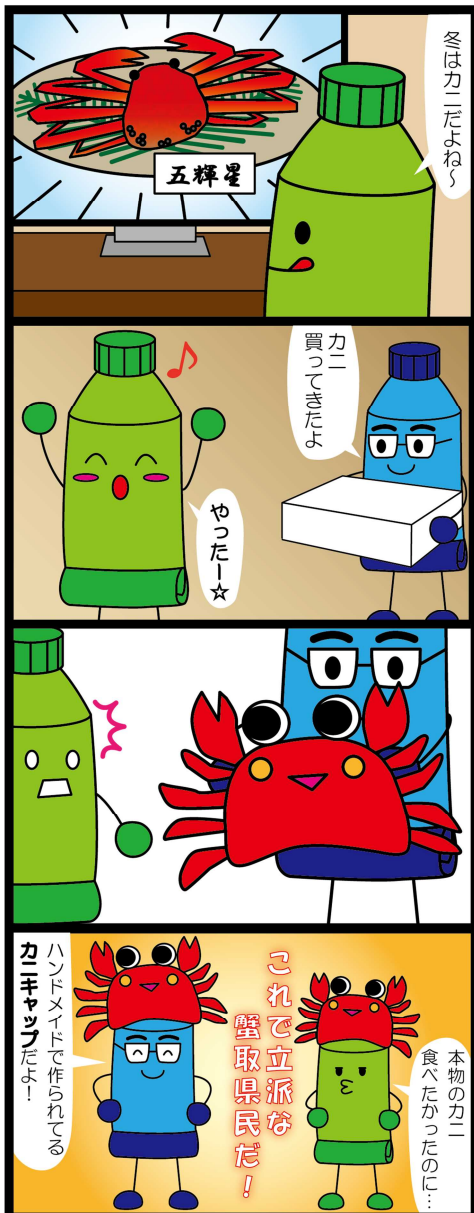
# 第9回倉吉市公民館研究大会

12月18日(金)に「時代の変化に即応する公民館活動～共育から始める地方創生～」をテーマに研究大会が開催されました。まず始めに、NPO特定非営利活動法人ブレンヒューマニティ理事長の能島裕介さんより、「地域課題を解決する社会教育」と題して講演がありました。「少子化は今が問題ではなく10年後の働く世代、高齢者を支える世代の減少が問題であること」、「これからの公民館は異なる地域課題を自分事として主体的に解決していく住民を育てていく必要があること」など、倉吉市各地区の人口推移を提示され、今後の公民館活動に対しての課題を話されました。

明倫公民館と灘手公民館の実践発表では、事業対象者を明確にし、地域資源をいかした取組が大変参考になりました。その後のパネルディスカッションでは、公民館と学校の連携事例や異世代との関わり方などについて、活発な意見交換がなされました。



## ちゅうぶくん ～カニ食べたい～



### 【参加者の声】



若い人はラインやフェイスブックで繋がっており、私たち(高齢世代)とも会話する機会が少なくなっている。私たちは機器が使えなくても生の言葉をかけることで繋がっていきたい。まずは自分たちが楽しんでいる姿を彼らに見せることだと思う。

学校との連携を推進するために小学校の入学説明会に行って公民館の事業について話をしている。職員の顔を知ってもらおうよい機会になっている。

### 【あとがき】

お正月、子どもたちは念願のお年玉をもらい、さっそく大型ショッピングセンターへ!お金を使うことに慎重な姉2人に対して小学生の3女はためらいなくゲームコーナーへ。普段お金を使いなれていないせいか、使い方がダイナミック。以前、決められた範囲内で自由にお金を使わせ、問題点に気づかせることが金銭教育によいと聞いていたので、ここは何も言わずに我慢。そのあと少しだけ2人で振り返りをしました。我慢って難しいです。10秒の愛を勉強して良かった!!と思いました。本年もよろしくお願いします。(岸本)

中部教育局 社会教育担当 岸本隆治

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail [kishimoto-r@pref.tottori.jp](mailto:kishimoto-r@pref.tottori.jp)

